

・VOD型遠隔科目

VOD配信（専門科目）				15201
考古学Ⅱ			紺谷 亮一	
年次 2～4	2単位	2期	1コマ	
<p>【授業の目的】 古代オリエント世界を考古学的手法で解釈する</p>				
<p>【授業内容】 アナトリア（現在のトルコ）を中心としたフィールドを、紺谷がたずさわっている考古学調査の視点から解読していく。また、古代オリエントを衣・食・住といった観点からもみていく。これにより幅広い「オリエント世界」を理解するきっかけをもってもらおう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人類の進化—原生人類から遊牧民まで— 2 イランとヨルダンに行く—西アジアの素顔— 3 イスタンブル歴史散歩 4 トルコ料理紹介 5 キュルテペ遺跡と粘土板文書 6 「4000年前のラブレター」 7 ヒッタイトとは何か？ 8 トルコ共和国カイセリ県遺跡調査プロジェクト（KAYAP）① 9 トルコ共和国カイセリ県遺跡調査プロジェクト（KAYAP）② 10 トルコ共和国カイセリ県遺跡調査プロジェクト（KAYAP）③ 11 地中海交易と鉱物 12 アッシリア・レリーフとは何か？① 13 アッシリア・レリーフとは何か？② 14 鉄芯入り青銅剣の発見—3000年前の北西イラン—① 15 鉄芯入り青銅剣の発見—3000年前の北西イラン—② 				
<p>【テキスト】 大貫良夫他著『人類の起源と古代オリエント』（中央公論社） 西アジア考古学講義ノート編集委員会編『西アジア考古学講義ノート』（日本西アジア考古学会）</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 リアクションペーパーと授業終了後のレポート</p>				

・ 対面授業科目

対面授業(教養)			15001																	
授業科目名:キリスト教学Ⅱ			担当教員氏名:山根 道公																	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 死にたいと思うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望を見出し、その喜びを文学作品に表した人たちがいる。そうした作品にも触れながら、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのようなものなのかを考察する。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を学ぶ。 キリスト教の原点であるイエスの生涯とその福音について理解し、またそのために必要なキリスト教の基礎知識を習得する</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 導入:現代人と聖書、イエスの福音に 出会った人たち</td> <td>9 北ガラリヤへの逃避行、受難と死の予告</td> </tr> <tr> <td>2 『新約聖書』の構成・風土的背景</td> <td>10 死を覚悟したエルサレムへの旅</td> </tr> <tr> <td>3 イエスの生誕、クリスマスの意味</td> <td>11 エルサレム入城と最後の晩餐</td> </tr> <tr> <td>4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム</td> <td>12 イエスの受難と十字架の死</td> </tr> <tr> <td>5 神の国の福音宣教、公生活の開始</td> <td>13 イエスの復活顕現物語</td> </tr> <tr> <td>6 奇跡物語と慰め物語</td> <td>14 現代人とイエスの福音</td> </tr> <tr> <td>7 イエスの祈り</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争</td> <td>16 期末試験</td> </tr> </table>					1 導入:現代人と聖書、イエスの福音に 出会った人たち	9 北ガラリヤへの逃避行、受難と死の予告	2 『新約聖書』の構成・風土的背景	10 死を覚悟したエルサレムへの旅	3 イエスの生誕、クリスマスの意味	11 エルサレム入城と最後の晩餐	4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム	12 イエスの受難と十字架の死	5 神の国の福音宣教、公生活の開始	13 イエスの復活顕現物語	6 奇跡物語と慰め物語	14 現代人とイエスの福音	7 イエスの祈り	15 まとめ	8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争	16 期末試験
1 導入:現代人と聖書、イエスの福音に 出会った人たち	9 北ガラリヤへの逃避行、受難と死の予告																			
2 『新約聖書』の構成・風土的背景	10 死を覚悟したエルサレムへの旅																			
3 イエスの生誕、クリスマスの意味	11 エルサレム入城と最後の晩餐																			
4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム	12 イエスの受難と十字架の死																			
5 神の国の福音宣教、公生活の開始	13 イエスの復活顕現物語																			
6 奇跡物語と慰め物語	14 現代人とイエスの福音																			
7 イエスの祈り	15 まとめ																			
8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争	16 期末試験																			
<p>【テキスト】 遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)</p>																				
<p>【参考図書】 『聖書』</p>																				
<p>【成績評価の方法】 受講態度・毎回課すリアクションペーパー:30%, 期末試験:70%</p>																				

対面授業(教養)				15002
授業科目名:キリスト教学Ⅶ			担当教員氏名:原田 豊己	
履修年次 1~4	2単位	2期	1コマ	旧・新約聖書を持参すること。
【授業の目的】 新約聖書のギリシア語原文に挑戦する。原文からの批判的口語訳を行う。また、写本学の入門的なことを解説する。 ギリシア語の発音ができる。				
【授業内容】 マタイ福音書 6章9—13節 「主の祈り」				
1 オリエンテーション			9 「主の祈り」の逐語訳 12-13 節	
2 ギリシア語アルファベット			10 「主の祈り」の構造分析	
3 ギリシア語発音			11 「主の祈り」の神学 ① なぜ「天」が複数形か	
4 「主の祈り」の原典発音			12 「主の祈り」の神学 ② 「国」か「支配」か	
5 「主の祈り」の品詞 9-10 節			13 「主の祈り」の神学 ③ 「負債」の連鎖	
6 「主の祈り」の品詞 11-12 節			14 「主の祈り」の神学 ④ 「主の祈り」の意義	
7 「主の祈り」の品詞 13 節			15 写本学の基礎	
8 「主の祈り」の逐語訳 9-11 節			16 定期試験	
【テキスト】 旧・新約聖書(手持ちのもので可)。				
【参考図書】 プリントを配布します。その他授業で指示します。				
【成績評価の方法】 授業への参加度:30%, 定期試験:70%				

対面授業(教養)				15003																
授業科目名:身体科学			担当教員氏名:保江 邦夫他1名																	
履修年次 1~4	2単位	2期	1コマ	毎回座学の他に演習も行うので、受講者は運動着または床面での運動が可能な衣服で出席すること。																
【授業の目的】 身体運動の科学について、静力学・並進動力学・回転動力学等の物理的観点、並びに日本武道や少林寺拳法に伝わる精神技法的観点から論じ、現代社会におけるコミュニケーション技法のひとつとしてのボディーバランスコミュニケーション技法にまで進む。 単なる座学としての理解ではなく、各自が日々実践することができるレベルまでの本質的理解を目指す。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 武道における身体運動</td> <td>9 BBC第四課</td> </tr> <tr> <td>2 身体運動制御と力学</td> <td>10 BBC第五課</td> </tr> <tr> <td>3 身体運動制御と精神</td> <td>11 BBC第六課</td> </tr> <tr> <td>4 身体と精神</td> <td>12 BBC技法体系</td> </tr> <tr> <td>5 ボディーバランスコミュニケーション(BBC)とは？</td> <td>13 社会コミュニケーションと身体運動</td> </tr> <tr> <td>6 BBC第一課</td> <td>14 自者と他者から自他融合へ</td> </tr> <tr> <td>7 BBC第二課</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 BBC第三課</td> <td>16 定期試験</td> </tr> </table>					1 武道における身体運動	9 BBC第四課	2 身体運動制御と力学	10 BBC第五課	3 身体運動制御と精神	11 BBC第六課	4 身体と精神	12 BBC技法体系	5 ボディーバランスコミュニケーション(BBC)とは？	13 社会コミュニケーションと身体運動	6 BBC第一課	14 自者と他者から自他融合へ	7 BBC第二課	15 まとめ	8 BBC第三課	16 定期試験
1 武道における身体運動	9 BBC第四課																			
2 身体運動制御と力学	10 BBC第五課																			
3 身体運動制御と精神	11 BBC第六課																			
4 身体と精神	12 BBC技法体系																			
5 ボディーバランスコミュニケーション(BBC)とは？	13 社会コミュニケーションと身体運動																			
6 BBC第一課	14 自者と他者から自他融合へ																			
7 BBC第二課	15 まとめ																			
8 BBC第三課	16 定期試験																			
【テキスト】 なし																				
【参考図書】 宋監修・山崎／治部／保江共著『ボディーバランスコミュニケーション』(海鳴社)																				
【成績評価の方法】 毎回の演習課題テスト:30%, 取り組みの態度:40%, 定期試験:30%																				

対面授業(専門)				15004
授業科目名:英語学概論 I			担当教員氏名:山部 順治	
履修年次 1~4	2単位	1期	1コマ	英和辞典を持参のこと。電子辞書は厳禁。
【授業の目的】 言語学の入門。 我々が普段話していることばには、普段は気付かれないが、様々な「興味深い」事実が隠れている。この授業では、どんな「興味深い」事実があるのか、また、そのような事実をどんな方法で発掘していくのか、解説する。取り扱う言語は、英語と日本語。言語学が高校の英文法学習と大きく異なることを実感してほしい。				
【授業内容】 1-4. 音声学・音韻論 ―言葉の音について― 1. 同じ音に感じられるが物理的には違う音 2. 違う音に感じられるが物理的には同じ音 3. 音節 4. アクセント 5,6. 復習 5. 筆記試験, ほか 6. 試験の答え合わせ 7-10. 形態論 ―単語について― 7. 派生語 8. uncoverable には意味が 2 つある 9. 複合語 10. cat food supplier には意味が 2 つある 11-14. 方言学・社会言語学 11. 方言とは何か; 語彙に関する変異 12. 発音・活用に関する変異 13. 文法に関する変異 14. 世代差と現在進行中の変化 15,16 復習 15. 筆記試験, ほか 16. 試験の答え合わせ				
【テキスト】 毎回ハンドアウト(印刷物)を配布する。購入の要る教科書はない。				
【参考図書】 『ジーニアス英和辞典』大修館書店。(この辞書をすでに持っていれば、新たに買う必要はなし。)				
【成績評価の方法】 ○ 配点 筆記試験 第 6 回授業時 17% 第 15 回授業時 33% 提出物 50% ○遅刻が3回以上ある場合、第1回分から欠席として数える。				

対面授業(専門)			15005																
授業科目名:日本語文法論 I		担当教員氏名:星野 佳之																	
履修年次 1~4	2単位	1期	1コマ 授業の内容上,講義はいわゆる学校文法の理解の上に成り立つ。学校文法を授業中に復習・確認することは最低限に抑えたいので,履修する場合は,高校までに学習した文法をなるべく早い時点で復習することが必要となる。																
【授業の目的】 日本語の文法について,概説する(現代語)。 文法とは言語のどういう範疇であるかを理解する。 今まで学習してきた文法体系(いわゆる学校文法)を相対化する目を養う。 日本語の文法をどう把握すべきか,大まかなりとも各自のイメージを持ってもらいたい。																			
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 イントロダクション 「文法を考える」ということ</td> <td>9 助動詞 各論 3</td> </tr> <tr> <td>2 「品詞」とは何か</td> <td>10 「格」について</td> </tr> <tr> <td>3 連用機能、連用形、連用副詞</td> <td>11 「格」関係と「副助詞」</td> </tr> <tr> <td>4 連体機能、連体形、連体副詞</td> <td>12 連用副詞といわゆる「陳述副詞」</td> </tr> <tr> <td>5 「用言」とは何か</td> <td>13 副詞の層と述語層の対応関係</td> </tr> <tr> <td>6 「助動詞」とは何か</td> <td>14 いわゆる「感動詞」について</td> </tr> <tr> <td>7 助動詞 各論 1</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 助動詞 各論 2</td> <td>16 定期試験</td> </tr> </table>				1 イントロダクション 「文法を考える」ということ	9 助動詞 各論 3	2 「品詞」とは何か	10 「格」について	3 連用機能、連用形、連用副詞	11 「格」関係と「副助詞」	4 連体機能、連体形、連体副詞	12 連用副詞といわゆる「陳述副詞」	5 「用言」とは何か	13 副詞の層と述語層の対応関係	6 「助動詞」とは何か	14 いわゆる「感動詞」について	7 助動詞 各論 1	15 まとめ	8 助動詞 各論 2	16 定期試験
1 イントロダクション 「文法を考える」ということ	9 助動詞 各論 3																		
2 「品詞」とは何か	10 「格」について																		
3 連用機能、連用形、連用副詞	11 「格」関係と「副助詞」																		
4 連体機能、連体形、連体副詞	12 連用副詞といわゆる「陳述副詞」																		
5 「用言」とは何か	13 副詞の層と述語層の対応関係																		
6 「助動詞」とは何か	14 いわゆる「感動詞」について																		
7 助動詞 各論 1	15 まとめ																		
8 助動詞 各論 2	16 定期試験																		
【テキスト】 特になし																			
【参考図書】 高校までに使っていた文法の便覧類を持参すること。持っていない場合は購入すること(任意のものでよい)。 授業中使用するプリントの配布はマナバフォリオを通じて行う。受講生は、初回までにマナバフォリオのリマインダー機能を使用可能な状況にしておくこと。																			
【成績評価の方法】 期末に試験を行う。これに 100 点を配当する。 授業回数のおよそ二に出席が満たない場合には単位認定の資格を与えないが,出席が評価の対象になることはない。																			

対面授業(専門)				15006
授業科目名:古代文学特講Ⅲ			担当教員氏名:新美 哲彦	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	
【授業の目的】 平安時代には仮名によってさまざまな散文作品が作成されており、これらの作品がその後の日本語表現の基礎となっている。その中でも『源氏物語』は、一つの到達点を示している。本授業では、『源氏物語』の巻々を、原文で読み進めることによって、『源氏物語』の表現を細かく見ていきたい。また、変体仮名を不自由なく読めるようにしたい。 『源氏物語』についての基礎知識を養い、巻々の内容や表現について考える。変体仮名を習得する。				
【授業内容】				
1 『源氏物語』の基礎知識		9 常夏(四)		
2 蛭(一)		10 篝火(一)		
3 蛭(二)		11 篝火(二)		
4 蛭(三)		12 篝火(三)		
5 蛭(四)		13 野分(一)		
6 常夏(一)		14 野分(二)		
7 常夏(二)		15 野分(三)		
8 常夏(三)		16 定期試験		
【テキスト】 適宜プリントを配布。参考図書については講義中に指示する。				
【参考図書】 授業中に指示します。				
【成績評価の方法】 定期試験:100%				

対面授業(専門)				15007
授業科目名:近世文学特講Ⅰ			担当教員氏名:藤川 玲満	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	
【授業の目的】 近世の小説のうち仮名草子を取りあげ、作者と作品について学んでいく。また、これらの文学が近世の特質である出版文化のなかで形成され、流布していく様相についても跡付ける。 近世文学の特色を理解する。				
【授業内容】				
1 江戸時代の社会と文学 1		9 仮名草子の諸作品と特質 6		
2 江戸時代の社会と文学 2		10 仮名草子の諸作品と特質 7		
3 江戸時代の社会と文学 3		11 仮名草子作者・浅井了意 1		
4 仮名草子の諸作品と特質 1		12 仮名草子作者・浅井了意 2		
5 仮名草子の諸作品と特質 2		13 近世初期の出版文化 1		
6 仮名草子の諸作品と特質 3		14 近世初期の出版文化 2		
7 仮名草子の諸作品と特質 4		15 近世初期の出版文化 3		
8 仮名草子の諸作品と特質 5		16 定期試験		
【テキスト】 なし(適宜プリントを配布する。)				
【参考図書】 講義中に指示する。				
【成績評価の方法】 期末試験:80%, 授業時の課題:20%				

対面授業(専門)				15008
授業科目名:近代文学特講 I			担当教員氏名:山根 知子	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。 講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。
【授業の目的】 作家坪田譲治をとりあげ、その作品を読み深め、作家の特質を考える。その際、時代背景と風土の問題および作家の作風との関係を考察する。 言語表現の特質を敏感に捉え、読解力を深める。 感性と言語感覚を磨き、その体験を作家の作品研究を深めてゆく思考へとつなげる。 同時代資料を使って、受講者自身が新見を論じられるようになること。				
【授業内容】 1 インTRODクシヨソ 2 坪田譲治年譜による作家理解(1) 3 坪田譲治年譜による作家理解(2) 4 作家と時代について 5 作家と風土について 6 坪田譲治の作品を読む(1) 7 坪田譲治の作品を読む(2) 8 坪田譲治の作品を読む(3) 9 坪田譲治の作品を読む(4) 10 坪田譲治の作品を読む(5) 11 同時代資料を使った作品読解(1) 12 同時代資料を使った作品読解(2) 13 同時代資料を使った作品読解(3) 14 同時代資料を使った作品読解(4) 15 同時代資料を使った作品読解(5) 16 定期試験(レポート)				
【テキスト】 プリント配付				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 授業中の課題と発言:30%, レポート(1回):70%				

対面授業(専門)				15009
授業科目名:近代文学特講III			担当教員氏名:綾目 広治	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	講義で扱う小説論をなるべく多く読むこと。
【授業の目的】 日本近代文学の中で反骨の姿勢を貫いた文学者と、社会変革の問題を考えた文学者を中心に講義し、彼らの知的営為が21世紀の今日の問題とも深く関わっていることを考察する。				
【授業内容】 1 導入1 2 導入2 3 永井荷風の反軍意識 4 賀川豊彦の思想史的位置1 5 賀川豊彦の思想史的位置2 6 森本厚吉の先駆性 7 太宰治文学の中の女性1 8 太宰治文学の中の女性2 9 石川淳の小説論 10 内田百閒の笑い1 11 内田百閒の笑い2 12 井上靖文学と仏教1 13 井上靖文学と仏教2 14 井上靖の恋愛小説 15 梅崎春生の笑い 16 試験				
【テキスト】 『反骨と変革 日本近代文学と女性・老い・格差』(綾目広治、御茶の水書房)				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 出席:20点, 筆記試験:80点				

対面授業(専門)				15010																
授業科目名:日本語学特講 I			担当教員氏名:尾崎 喜光																	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ																	
<p>【授業の目的】</p> <p>一口に日本語と言っても一様ではない。特に日常の話し言葉においては、性差、年齢差、地域差等の多様性が顕著に認められる。</p> <p>言葉の多様性には、言語使用場面と連動する面もある。すなわち、相手や状況によっても使う表現は多様である。敬語の使い分けはその典型だが、共通語化の過程における方言と共通語の使い分けもそうした現象の一つである。</p> <p>こうした多様性を持ちながら、日本語は現在も変化を続け、動態を示している。その言葉の動態には、社会全体としてのレベルだけでなく、個人のレベルにおいても「加齢変化」として認められる。</p> <p>以上は言語使用の多様性だが、言語意識にも多様性が認められる。ある地域ではごく普通の表現であっても、別の地域の人にとっては特別なニュアンスで感じられる場合もある。言語行動については異言語間でも同様の現象が認められる。</p> <p>本講義では、講師自身がこれまでたずさわった調査研究の中から、そうした現象に関する研究成果を紹介する。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 言葉の男女差(1)</td> <td>9 日本語の動態(1)-全国多人数調査から-</td> </tr> <tr> <td>2 言葉の男女差(2)</td> <td>10 日本語の動態(2)-全国多人数調査から-</td> </tr> <tr> <td>3 敬語の使い分け(1)-「学校の中の敬語」調査から-</td> <td>11 言葉の加齢変化(1)</td> </tr> <tr> <td>4 敬語の使い分け(2)-「東京調査」から-</td> <td>12 言葉の加齢変化(2)</td> </tr> <tr> <td>5 敬語の使い分け(3)-「岡崎調査」から-</td> <td>13 対人意識と言語行動に関する日韓対照(1)</td> </tr> <tr> <td>6 方言の共通語化</td> <td>14 対人意識と言語行動に関する日韓対照(2)</td> </tr> <tr> <td>7 方言と共通語の使い分け(1)</td> <td>15 他方言に対する評価意識</td> </tr> <tr> <td>8 方言と共通語の使い分け(2)</td> <td>16 定期試験</td> </tr> </table>					1 言葉の男女差(1)	9 日本語の動態(1)-全国多人数調査から-	2 言葉の男女差(2)	10 日本語の動態(2)-全国多人数調査から-	3 敬語の使い分け(1)-「学校の中の敬語」調査から-	11 言葉の加齢変化(1)	4 敬語の使い分け(2)-「東京調査」から-	12 言葉の加齢変化(2)	5 敬語の使い分け(3)-「岡崎調査」から-	13 対人意識と言語行動に関する日韓対照(1)	6 方言の共通語化	14 対人意識と言語行動に関する日韓対照(2)	7 方言と共通語の使い分け(1)	15 他方言に対する評価意識	8 方言と共通語の使い分け(2)	16 定期試験
1 言葉の男女差(1)	9 日本語の動態(1)-全国多人数調査から-																			
2 言葉の男女差(2)	10 日本語の動態(2)-全国多人数調査から-																			
3 敬語の使い分け(1)-「学校の中の敬語」調査から-	11 言葉の加齢変化(1)																			
4 敬語の使い分け(2)-「東京調査」から-	12 言葉の加齢変化(2)																			
5 敬語の使い分け(3)-「岡崎調査」から-	13 対人意識と言語行動に関する日韓対照(1)																			
6 方言の共通語化	14 対人意識と言語行動に関する日韓対照(2)																			
7 方言と共通語の使い分け(1)	15 他方言に対する評価意識																			
8 方言と共通語の使い分け(2)	16 定期試験																			
【テキスト】																				
【参考図書】																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業への参加姿勢:30%, 試験:70%</p>																				

対面授業(専門)				15011																
授業科目名:社会心理学			担当教員氏名:中山ちなみ																	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	授業で紹介した概念や研究成果をただ覚えるのではなく、それらの概念を用いることによって、身の周りのどのような問題が分析・説明できるのかということを考えながら、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。																
【授業の目的】 社会心理学における基礎概念や重要研究を解説・紹介し、具体的な事例と関連させながら、人間関係や社会事象について考察してゆく。この考察を通して、「社会的存在」としての人間の意識や行動が、どのように形成され、どのような社会的現象となって現れるのか、そのメカニズムを理解し、人間と社会への洞察を深める。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 イントロダクション</td> <td>9 対人魅力</td> </tr> <tr> <td>2 社会の中の「私」</td> <td>10 援助行動</td> </tr> <tr> <td>3 自我の二側面</td> <td>11 リーダーシップ</td> </tr> <tr> <td>4 行為と意識</td> <td>12 同調行動と逸脱行動</td> </tr> <tr> <td>5 行為の意図せざる帰結(1)</td> <td>13 権力と服従</td> </tr> <tr> <td>6 行為の意図せざる帰結(2)</td> <td>14 社会的ジレンマ</td> </tr> <tr> <td>7 欲求</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 態度の一貫性</td> <td>16 定期試験</td> </tr> </table>					1 イントロダクション	9 対人魅力	2 社会の中の「私」	10 援助行動	3 自我の二側面	11 リーダーシップ	4 行為と意識	12 同調行動と逸脱行動	5 行為の意図せざる帰結(1)	13 権力と服従	6 行為の意図せざる帰結(2)	14 社会的ジレンマ	7 欲求	15 まとめ	8 態度の一貫性	16 定期試験
1 イントロダクション	9 対人魅力																			
2 社会の中の「私」	10 援助行動																			
3 自我の二側面	11 リーダーシップ																			
4 行為と意識	12 同調行動と逸脱行動																			
5 行為の意図せざる帰結(1)	13 権力と服従																			
6 行為の意図せざる帰結(2)	14 社会的ジレンマ																			
7 欲求	15 まとめ																			
8 態度の一貫性	16 定期試験																			
【テキスト】 テキストは指定しない。ほぼ毎回プリントを配布する。																				
【参考図書】 講義時間中に随時紹介する。																				
【成績評価の方法】 定期試験:90%, 授業への取り組み度:10%																				

対面授業(専門)				15012																
授業科目名:社会集団・組織論			担当教員氏名:濱西 栄司																	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ																	
【授業の目的】 本講義の主な目的は、社会学的研究の基礎理論の一つとして、社会集団/組織論の方法・成果について理解し、またその観点から現代社会の分析を行う技能を修得することにある。前半(2-5回)では、経済・政治をめぐる現実の集団・組織について説明し、後半(6-14回)では、それらの集団・組織を社会的に分析するための視座・技能を習得する。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 オリエンテーション</td> <td>9 組織構造と資源動員(1)</td> </tr> <tr> <td>2 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(1)</td> <td>10 組織構造と資源動員(2)</td> </tr> <tr> <td>3 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(2)</td> <td>11 組織のリクルート</td> </tr> <tr> <td>4 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(1)</td> <td>12 集合行為論</td> </tr> <tr> <td>5 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(2)</td> <td>13 集団・組織の中を生きる個人の経験(1)</td> </tr> <tr> <td>6 組織研究の方法と理論(1)</td> <td>14 集団・組織の中を生きる個人の経験(2)</td> </tr> <tr> <td>7 組織研究の方法と理論(2)</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 組織研究の方法と理論(3)</td> <td>期末レポート提出</td> </tr> </table>					1 オリエンテーション	9 組織構造と資源動員(1)	2 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(1)	10 組織構造と資源動員(2)	3 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(2)	11 組織のリクルート	4 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(1)	12 集合行為論	5 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(2)	13 集団・組織の中を生きる個人の経験(1)	6 組織研究の方法と理論(1)	14 集団・組織の中を生きる個人の経験(2)	7 組織研究の方法と理論(2)	15 まとめ	8 組織研究の方法と理論(3)	期末レポート提出
1 オリエンテーション	9 組織構造と資源動員(1)																			
2 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(1)	10 組織構造と資源動員(2)																			
3 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(2)	11 組織のリクルート																			
4 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(1)	12 集合行為論																			
5 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(2)	13 集団・組織の中を生きる個人の経験(1)																			
6 組織研究の方法と理論(1)	14 集団・組織の中を生きる個人の経験(2)																			
7 組織研究の方法と理論(2)	15 まとめ																			
8 組織研究の方法と理論(3)	期末レポート提出																			
【テキスト】 なし																				
【参考図書】 フランソワ・デュベ、2011、『経験の社会学』新泉社 宮島喬編、2003、『岩波小辞典 社会学』岩波書店																				
【成績評価の方法】 リフレクションシート:10%, 確認テスト:30%, 期末レポート:60%																				

対面授業(専門)				15013																
授業科目名:地域社会学			担当教員氏名:二階堂 裕子																	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	日頃から新聞をよく読み, 地域社会の動向に関心をもつこと。																
<p>【授業の目的】 この授業では, まず, 私たちが日常生活を営む地域社会というものの捉え方やその成り立ちについて説明する。その上で, 戦後の高度成長期を経て, 日本の地域社会がどのような問題に直面するようになったのかを述べる。さらに, 少子高齢化, 急激な景気悪化, グローバル化などの社会変動が今日の地域社会にどのような影響を与えているのかについて考察する。 以上を通して, 学生が地域社会の諸問題に対する理解と関心を深めることが本授業のねらいである。これに加えて, 自らを地域社会の一員として認識し, 今後どのような地域貢献が求められるかを考え, それを実行しようとする姿勢を養いたい。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 地域社会とコミュニティ</td> <td>9 高齢化と地域社会</td> </tr> <tr> <td>2 コミュニティ問題の登場</td> <td>10 中山間地域における過疎化</td> </tr> <tr> <td>3 都市化と地域社会における変容</td> <td>11 インナーシティ問題の発生</td> </tr> <tr> <td>4 町内会とコミュニティ形成</td> <td>12 安全・安心な生活と地域社会</td> </tr> <tr> <td>5 コミュニティ活動における自治体・住民・NPO の関係</td> <td>13 グローバル化と地域社会</td> </tr> <tr> <td>6 コミュニティ・センター</td> <td>14 多民族・多文化化とコミュニティ形成(1)</td> </tr> <tr> <td>7 コミュニティ活動</td> <td>15 多民族・多文化化とコミュニティ形成(2)</td> </tr> <tr> <td>8 子育てと地域社会</td> <td>16 期末試験</td> </tr> </table>					1 地域社会とコミュニティ	9 高齢化と地域社会	2 コミュニティ問題の登場	10 中山間地域における過疎化	3 都市化と地域社会における変容	11 インナーシティ問題の発生	4 町内会とコミュニティ形成	12 安全・安心な生活と地域社会	5 コミュニティ活動における自治体・住民・NPO の関係	13 グローバル化と地域社会	6 コミュニティ・センター	14 多民族・多文化化とコミュニティ形成(1)	7 コミュニティ活動	15 多民族・多文化化とコミュニティ形成(2)	8 子育てと地域社会	16 期末試験
1 地域社会とコミュニティ	9 高齢化と地域社会																			
2 コミュニティ問題の登場	10 中山間地域における過疎化																			
3 都市化と地域社会における変容	11 インナーシティ問題の発生																			
4 町内会とコミュニティ形成	12 安全・安心な生活と地域社会																			
5 コミュニティ活動における自治体・住民・NPO の関係	13 グローバル化と地域社会																			
6 コミュニティ・センター	14 多民族・多文化化とコミュニティ形成(1)																			
7 コミュニティ活動	15 多民族・多文化化とコミュニティ形成(2)																			
8 子育てと地域社会	16 期末試験																			
<p>【テキスト】 特に使用しない。</p>																				
<p>【参考図書】 講義中に適宜資料を配布するほか, 参考書なども紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 リアクションペーパー(講義で学んだことや意見):30%, 期末試験:70%</p>																				

対面授業(専門)				15014																
授業科目名:ジェンダー論			担当教員氏名:山下 美紀																	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	内容に即して、外部講師による特別講義を行うことがある。講義中心であるが、グループ討議や発表もありうる。																
【授業の目的】 本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識を、いまいちど検討しなおしていく。 ジェンダー問題を自分にひきつけて考えていく力を身につけてもらいたい。日常生活にあふれているさまざまなジェンダー秩序に気づき、そこに含まれている問題点を整理し、解決の方策を考える、といった力の習得を目指す。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 「ジェンダー」学問領域の誕生と発展</td> <td>9 女性の労働と職場環境</td> </tr> <tr> <td>2 ジェンダー論の基礎① フェミニズムの歴史</td> <td>10 教育におけるジェンダートラック</td> </tr> <tr> <td>3 ジェンダー論の基礎② 性の二分法</td> <td>11 メディアとジェンダー</td> </tr> <tr> <td>4 ジェンダー論の基礎③ ジェンダーをめぐる身体</td> <td>12 アジアの女性問題</td> </tr> <tr> <td>5 ジェンダーの社会的構築</td> <td>13 ジェンダー研究の紹介①</td> </tr> <tr> <td>6 ジェンダー秩序とジェンダー体制</td> <td>14 ジェンダー研究の紹介②</td> </tr> <tr> <td>7 ジェンダーの再生産過程</td> <td>15 現代社会とジェンダー</td> </tr> <tr> <td>8 家族間葛藤とジェンダー</td> <td>16 期末筆記試験</td> </tr> </table>					1 「ジェンダー」学問領域の誕生と発展	9 女性の労働と職場環境	2 ジェンダー論の基礎① フェミニズムの歴史	10 教育におけるジェンダートラック	3 ジェンダー論の基礎② 性の二分法	11 メディアとジェンダー	4 ジェンダー論の基礎③ ジェンダーをめぐる身体	12 アジアの女性問題	5 ジェンダーの社会的構築	13 ジェンダー研究の紹介①	6 ジェンダー秩序とジェンダー体制	14 ジェンダー研究の紹介②	7 ジェンダーの再生産過程	15 現代社会とジェンダー	8 家族間葛藤とジェンダー	16 期末筆記試験
1 「ジェンダー」学問領域の誕生と発展	9 女性の労働と職場環境																			
2 ジェンダー論の基礎① フェミニズムの歴史	10 教育におけるジェンダートラック																			
3 ジェンダー論の基礎② 性の二分法	11 メディアとジェンダー																			
4 ジェンダー論の基礎③ ジェンダーをめぐる身体	12 アジアの女性問題																			
5 ジェンダーの社会的構築	13 ジェンダー研究の紹介①																			
6 ジェンダー秩序とジェンダー体制	14 ジェンダー研究の紹介②																			
7 ジェンダーの再生産過程	15 現代社会とジェンダー																			
8 家族間葛藤とジェンダー	16 期末筆記試験																			
【テキスト】 なし																				
【参考図書】 参考文献・資料等については講義中に指示する。																				
【成績評価の方法】 出席状況および受講態度はもちろんのこと、複数回の課題提出を求め、成績に反映させる。期末時には筆記試験を行う。 課題提出:20%, 中間試験:20%, 期末筆記試験:60%																				

対面授業(専門)				15015
授業科目名:ヨーロッパ社会史Ⅱ			担当教員氏名:轟木 広太郎	
履修年次 2~4	2単位	2期	コマ	講義中に紹介する参考文献を積極的に読んでほしい。
【授業の目的】 社会史の実例として、ヨーロッパ社会の「罪と罰」を取り上げ、中世から現代までの概観する。前半は、世俗社会の犯罪と刑罰を、後半は、宗教上の罪と罰を扱う。その歴史を通じて、ヨーロッパ人の正義と悪に対する態度がどのように変化してきたかを多面的に理解する。				
【授業内容】				
1 イントロダクション			9 神判1	
2 贖罪1;キリスト教初期			10 神判2	
3 贖罪2;中世前期			11 身体刑1	
4 贖罪3;中世後期以降			12 身体刑2	
5 あの世の刑罰1			13 18世紀の刑法改革	
6 あの世の刑罰2			14 監獄刑1	
7 異端審問1			15 監獄刑2	
8 異端審問2			16 試験	
【テキスト】 なし				
【参考図書】 毎回の授業でプリントを配布する。				
【成績評価の方法】 平常点(30%)と試験(70%)による。受講者が少ない場合は、試験はレポートに変更する可能性もある。				

対面授業(専門)				15016
授業科目名:民俗学Ⅰ			担当教員氏名:小嶋 博巳	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	成績評価は厳格に行うので、そのつもりで受講すること。
【授業の目的】 日本民俗学の重要なテーマである民俗宗教(民間信仰)について、各地の具体的な事象を取りあげながら、その基本的な性格を考察する。霊魂観・他界観・神観念の問題を中心に扱う。				
【授業内容】				
1 民俗宗教という概念			9 盆と正月	
2 霊魂の観念			10 一年両分性説	
3 「他界」というイメージ			11 祖霊信仰論批判	
4 山の他界			12 「浮かばれない」死者たち—御霊信仰論—	
5 海の他界			13 日本史上の御霊信仰	
6 訪れる神たち			14 民俗社会の御霊信仰	
7 民俗的他界観と仏教思想			15 まとめ—日本人の神観念—	
8 ホトケからカミへ—祖霊信仰論—			16 定期試験	
【テキスト】 教科書は使用しない。しばしば資料プリントを配布する				
【参考図書】 必要に応じて講義中に紹介する。				
【成績評価の方法】 小テスト:20%, 期末試験:80%, 小テストは予告なく行う。				

対面授業(専門)				15017																
授業科目名:社会史特講 I			担当教員氏名:八重樫 直比古																	
履修年次 2~4	2単位	2期	1コマ	授業と平行して、『続日本紀』や宣命,そして孝謙(称徳)天皇に関する研究書,研究論文を読むこと。またそれらの著者の解釈などと授業との異同を自分で確かめること。																
【授業の目的】 『続日本紀』の宣命を史料として取り上げ,これまで発表してきた論文をもとにして,考えるところを述べてみたい。古代最後の女帝孝謙(重祚して称徳)の数多くの宣命は,その肉声に近いものを聞き取れる点において貴重な史料である。そこに女帝と仏教,政治と宗教の関わり合いの実態を探ってみる。 史料を通して,史料を残した人の心の中に入り込むことの重要性,また面白さを知る。またそのために必要な手続きを知ること。政治と宗教の融合といっても様々な形がある。その一例を知り,現代と前近代社会の相違を実体験する。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 本年度の予定</td> <td>9 孝謙太上天皇の宣命</td> </tr> <tr> <td>2 『続日本紀』とはどんな歴史書か,概要の説明</td> <td>10 称徳天皇の宣命</td> </tr> <tr> <td>3 宣命とは何か,概要の説明</td> <td>11 道教事件</td> </tr> <tr> <td>4 孝謙(称徳)天皇一代記(1)</td> <td>12 道教事件の新解釈(1)</td> </tr> <tr> <td>5 孝謙(称徳)天皇一代記(2)</td> <td>13 道教事件の新解釈(2)</td> </tr> <tr> <td>6 孝謙(称徳)天皇一代記(3)</td> <td>14 『続日本紀』の「筆法」</td> </tr> <tr> <td>7 父,聖武天皇の宣命</td> <td>15 本年度のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 孝謙天皇の宣命</td> <td></td> </tr> </table>					1 本年度の予定	9 孝謙太上天皇の宣命	2 『続日本紀』とはどんな歴史書か,概要の説明	10 称徳天皇の宣命	3 宣命とは何か,概要の説明	11 道教事件	4 孝謙(称徳)天皇一代記(1)	12 道教事件の新解釈(1)	5 孝謙(称徳)天皇一代記(2)	13 道教事件の新解釈(2)	6 孝謙(称徳)天皇一代記(3)	14 『続日本紀』の「筆法」	7 父,聖武天皇の宣命	15 本年度のまとめ	8 孝謙天皇の宣命	
1 本年度の予定	9 孝謙太上天皇の宣命																			
2 『続日本紀』とはどんな歴史書か,概要の説明	10 称徳天皇の宣命																			
3 宣命とは何か,概要の説明	11 道教事件																			
4 孝謙(称徳)天皇一代記(1)	12 道教事件の新解釈(1)																			
5 孝謙(称徳)天皇一代記(2)	13 道教事件の新解釈(2)																			
6 孝謙(称徳)天皇一代記(3)	14 『続日本紀』の「筆法」																			
7 父,聖武天皇の宣命	15 本年度のまとめ																			
8 孝謙天皇の宣命																				
【テキスト】 授業で使用する史料はプリントして配布する。また参考文献や史料を随時紹介する。																				
【参考図書】 特に指定するものはない。																				
【成績評価の方法】 レポート(70%)に毎回の授業の理解度(30%)を総合して評価する。																				

対面授業(専門)				15018
授業科目名:社会倫理学 I			担当教員氏名:葛生 栄二郎	
履修年次 1~4	2単位	2期	1コマ	
【授業の目的】 「いのち」をめぐる争われる様々な問題を、法学的な視点、倫理的な視点の双方から検討する。Iでは、ことに、生命の誕生を問題とする。 現在の生命科学・生命倫理の最新状況を把握すること。法的な視点と倫理的な視点との違いを理解すること。				
【授業内容】 I イントロダクション ①今、なぜ「いのち」の倫理が問われるのか ②様々な生命観(1) -西洋的生命観と東洋的生命観 ③様々な生命観(2) -宗教的生命観と功利主義的生命観 II 人工生殖 1 ④人工授精の倫理問題 2 ⑤人工授精の法律問題 3 ⑥体外受精 4 ⑦代理母契約 5 ⑧クローン生殖 III 人工妊娠中絶 1 ⑨中絶の倫理 (1)-Pro-Life と Pro-Choice ⑩中絶の倫理 (2)-中絶をめぐる歴史 2 ⑪各国の中絶法 3 ⑫母体保護法と堕胎罪 4 ⑬パーソン論 IV 子殺し 1 ⑭間引きと嬰兒殺 ⑮総括 V テスト ⑯テスト				
【テキスト】 葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子『新・いのちの法と倫理』法律文化社				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 受講態度:30点, テスト:70点				

対面授業(専門)				15019
授業科目名:社会倫理学Ⅱ			担当教員氏名:葛生 栄二郎	
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	
【授業の目的】 「いのち」をめぐる争われる様々な問題を、法学的な視点、倫理的な視点の双方から検討する。Ⅱでは、ことに、生命の終焉を問題とする。 現在の生命科学・生命倫理の最新状況を把握すること。法的な視点と倫理的な視点との違いを理解すること。				
【授業内容】 I 死刑制度 1 ①死刑の実態 2 ②死刑は許されるのか II 自殺 1 ③自殺という現象 2 ④自殺の倫理問題 3 ⑤自殺の法律問題 III 安楽死・尊厳死 1 ⑥安楽死の種類 2 ⑦安楽死と尊厳死 3 ⑧安楽死の倫理 4 ⑨安楽死・尊厳死判例 5 ⑩安楽死法 IV 脳死と臓器移植 1 ⑪「死ぬ」ということ 2 ⑫脳死の定義 3 ⑬臓器移植法 4 ⑭脳死移植と生命観 ⑮総括 V テスト 1 ⑯テスト				
【テキスト】 葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子『新・いのちの法と倫理』法律文化社				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 受講態度:30点, テスト:70点				

対面授業(専門)				15020																
授業科目名:生活文化史 I			担当教員氏名:横山 學																	
履修年次 1~4	2単位	1期	1コマ	<p>本授業では, 必要に応じて, 資料を配布もしくは表示画面に提示する。座席は指定しないが, 自分の条件に合った場所に座して, 積極的に授業に取り組まれない。</p> <p>毎授業の終了時には, 「質問・意見」メモを回収する。</p>																
<p>【授業の目的】</p> <p>近世から近代にかけての日常生活の事象から問題を発展させた「文化」の問題を講義する。本年度は「書物文化 I」とする。</p> <p>歴史的に物事を考えることを身に付け, 関連領域を専門的に探り, 資料を読む力を養う。関係文献を読解し, 正しく評価できる力を養う。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 書物にかかわる文化の歴史</td> <td>9 和紙の魅力</td> </tr> <tr> <td>2 書物と生活</td> <td>10 書物に魅せられた人 青春の蹉跎</td> </tr> <tr> <td>3 本とは何か</td> <td>11 書物に魅せられた人 なまみこ物語とチェンブレン</td> </tr> <tr> <td>4 書物の美しさ・愉しさ・哀しさ</td> <td>12 書物に魅せられた人 火野葦平とフランク・ホーレー</td> </tr> <tr> <td>5 和紙について</td> <td>13 まとめ(1)</td> </tr> <tr> <td>6 紙の歴史</td> <td>14 まとめ(2)</td> </tr> <tr> <td>7 紙の原料</td> <td>15 まとめ(3)</td> </tr> <tr> <td>8 紙の製法</td> <td>16 期末試験</td> </tr> </table>					1 書物にかかわる文化の歴史	9 和紙の魅力	2 書物と生活	10 書物に魅せられた人 青春の蹉跎	3 本とは何か	11 書物に魅せられた人 なまみこ物語とチェンブレン	4 書物の美しさ・愉しさ・哀しさ	12 書物に魅せられた人 火野葦平とフランク・ホーレー	5 和紙について	13 まとめ(1)	6 紙の歴史	14 まとめ(2)	7 紙の原料	15 まとめ(3)	8 紙の製法	16 期末試験
1 書物にかかわる文化の歴史	9 和紙の魅力																			
2 書物と生活	10 書物に魅せられた人 青春の蹉跎																			
3 本とは何か	11 書物に魅せられた人 なまみこ物語とチェンブレン																			
4 書物の美しさ・愉しさ・哀しさ	12 書物に魅せられた人 火野葦平とフランク・ホーレー																			
5 和紙について	13 まとめ(1)																			
6 紙の歴史	14 まとめ(2)																			
7 紙の原料	15 まとめ(3)																			
8 紙の製法	16 期末試験																			
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>																				
<p>【参考図書】</p> <p>随時、指定する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>取組度:50点, レポート:10点, 期末試験:40点</p>																				

対面授業(専門)				15021																
授業科目名:生活文化史Ⅱ			担当教員氏名:横山 學																	
履修年次 1~4	2単位	2期	1コマ	<p>本授業では、必要に応じて、資料を配布もしくは表示画面に提示する。座席は指定しないが、自分の条件に合った場所に座して、積極的に授業に取り組みたい。</p> <p>毎授業の終了時には、「質問・意見」メモを回収する。</p>																
<p>【授業の目的】</p> <p>失われつつある「らしさ」。自らも求め、社会からも求められる「らしさ」「らしく」について、歴史的に考えてゆく。</p> <p>歴史的に物事を考えることを身に付け、関連領域を専門的に探り、資料を読む力を養う。関係文献を読解し、正しく評価できる力を養う。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <p>「らしさ」「らしく」の文化史</p> <table border="0"> <tr> <td>1 「らしさ」「らしく」とは</td> <td>9 エチケットマナー</td> </tr> <tr> <td>2 近世社会の前提としての文化</td> <td>10 現代社会の「らしさ」</td> </tr> <tr> <td>3 武家社会</td> <td>11 求められる「らしさ」</td> </tr> <tr> <td>5 町人社会</td> <td>12 拒否される「らしさ」</td> </tr> <tr> <td>5 女子教育</td> <td>13 まとめ(1)</td> </tr> <tr> <td>6 しつけと礼儀</td> <td>14 まとめ(2)</td> </tr> <tr> <td>7 社会慣習について</td> <td>15 まとめ(3)</td> </tr> <tr> <td>8 近代社会における「らしさ」</td> <td>16 期末試験</td> </tr> </table>					1 「らしさ」「らしく」とは	9 エチケットマナー	2 近世社会の前提としての文化	10 現代社会の「らしさ」	3 武家社会	11 求められる「らしさ」	5 町人社会	12 拒否される「らしさ」	5 女子教育	13 まとめ(1)	6 しつけと礼儀	14 まとめ(2)	7 社会慣習について	15 まとめ(3)	8 近代社会における「らしさ」	16 期末試験
1 「らしさ」「らしく」とは	9 エチケットマナー																			
2 近世社会の前提としての文化	10 現代社会の「らしさ」																			
3 武家社会	11 求められる「らしさ」																			
5 町人社会	12 拒否される「らしさ」																			
5 女子教育	13 まとめ(1)																			
6 しつけと礼儀	14 まとめ(2)																			
7 社会慣習について	15 まとめ(3)																			
8 近代社会における「らしさ」	16 期末試験																			
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>																				
<p>【参考図書】</p> <p>随時、指定する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>取組度:50点, レポート:10点, 期末試験:40点</p>																				